

■ 株式投資レポート (2025 年 4 月 28 日～5 月 2 日)

この週は、米国の自動車関税政策の転換や日銀の経済見通し下方修正、日本および米国の雇用統計が注目を集めた。中国の製造業低迷や日本の鉱工業生産減少も重なり、世界経済の先行きに対する警戒感が高まる一方、日経平均株価は 7 日続伸するなど国内市場は堅調な動きを見せた。今週は雇用指標が堅調も、生産や成長率に減速傾向が見られ、先行きに注視が必要。

4 月 28 日 (月)

- ・ 日経平均は米株高を受けて続伸、35,903 円。円安も進行し 143 円台後半。
- ・ 経産省主催のエネルギーサミットで供給網再編の重要性を議論。

4 月 29 日 (火)

- ・ 日越首脳が経済・安全保障協力強化で一致。
- ・ コメ価格は 16 週連続上昇。物価上昇圧力が継続。

4 月 30 日 (水)

- ・ 日経平均は 205 円高で 5 日続伸。日銀会合控え、売買は低調。
- ・ 米政府が自動車関税を猶予。日系自動車株に追い風。
- ・ 赤沢経済再生相が訪米し、貿易協議を準備。
- ・ 鉱工業生産は 1.1%減。製造業の停滞が懸念材料。

5 月 1 日 (木)

- ・ 日本銀行が政策金利を 0.5%に据え置き。展望レポートで 2025 年度・26 年度の成長率と物価見通しを下方修正。米国関税政策の影響をリスク要因として明示。
- ・ 日経平均株価は続伸し、3 万 6452 円となる。米国株高と為替の円安傾向が下支え。
- ・ 米国の第 1 四半期 GDP が予想を下回る伸びとなり、世界経済の減速懸念が浮上。

5 月 2 日 (金)

- ・ 日本の完全失業率は 2.5%に上昇したが、有効求人倍率は改善。労働需給は逼迫。
- ・ 米雇用統計では 22.8 万人増加、失業率 4.2%で横ばい。底堅い景気を示唆。
- ・ 日経平均は 378 円高の 3 万 6830 円、7 日続伸。米景気と円安が支援要因。

■ 個別株の振り返りと今後の対応（大型株を中心）

全体概況

2025 年 5 月第 1 週は、米 FOMC の利下げ観測が後退した一方、好調な米企業決算を受けて日経平均は底堅く推移。ドル円は一時 160 円を超えるも政府・日銀の介入観測で急反落し、為替変動が注目された。連休中の海外要因を織り込む動きが強まり、売買はやや手控えムード。

輸出・製造業株

円安進行が一服し自動車など外需株の上値が重くなる一方、中国景気刺激期待で機械株は堅調。

トヨタ：2 月以降堅調だが、4 月後半に為替反転で反落。

キーエンス：3 月以降横ばい推移、設備投資需要に期待。

銀行・地銀株

米金利上昇一服と日本の追加利上げ観測の後退で金融株はやや軟調。

三菱 UFJ：4 月末にかけて上昇も、その後調整入り。

ふくおか FG：地方銀行再編報道で底堅さを維持。

ハイテク・AI 関連株

米ハイテク決算が堅調で半導体関連に買い。生成 AI 投資継続も追い風。

東京エレクトロン：好決算を受けて急伸。

レーザーテック：EUV 関連需要で高値更新。

内需・ディフェンシブ株

連休前のリスク回避で資金が一部内需株に流入。通信・医薬が底堅い。

KDDI：安定収益と配当が評価され堅調。

中外製薬：抗がん剤など新薬開発期待が支え。

来週に向けた注目点

・米 4 月雇用統計（5/3 発表）：非農業部門雇用者数が 17.7 万人増と市場予想を上回り、失業率は 4.2%で横ばい。平均時給は前年比 3.8%増。予想外の強さが示され、FRB の利下げ観測はやや後退した。その他、日銀金融政策決定会合議事要旨、中国の 4 月輸出入統計、米中経済摩擦の動向

現時点での戦略

決算発表シーズン後半を控え、個別業績を重視。急騰銘柄は追わず、テーマ性・業績裏付けのある銘柄を押し目で拾う。地政学・為替リスクに留意し、業種分散とポジション調整を適切に実施。

■チャート分析

※チャート分析で取り上げた銘柄は、チャートの形として参考になるものを選んでいきます。推奨ではありません。売買は自己責任でお願いします。

■日経平均 円建てチャート（日足）

2023/1/4 の 25,662 円を起点に上昇し、2024/7/11 に 42,427 円を記録。その後は植田ショックで急落し、2024/12/27 高値 40398 円まで戻すが、トランプ関税ショックにより 2025/4/7 の 30,793 円まで下落。そこから反発、現在は 36,830 円まで戻し、DK 半値戻しを上抜けた局面です。

■価格動向

AD 半値押し 34,044 円、DK 半値戻し 36,610 円を突破。抵抗帯（35,247～35,987 円）も上抜け、上昇トレンド入りの兆し。ただし短期的には過熱感あり、調整リスクも。下値は 35,248 円、34,044 円が支持帯。

■日柄分析

D 高値から 1 年後の 2025/7/11、K 安値から 90 日後の 7 月 7 日が重要な節目。7 月上旬は日柄集中タイミングで、反発継続か調整入りか分岐点。トランプ関税ショックの 2025/4/7 から約 30 日経過は 5/7 であり日柄的にも調整リスクあり。

■日経平均 ドル建てチャート（日足）

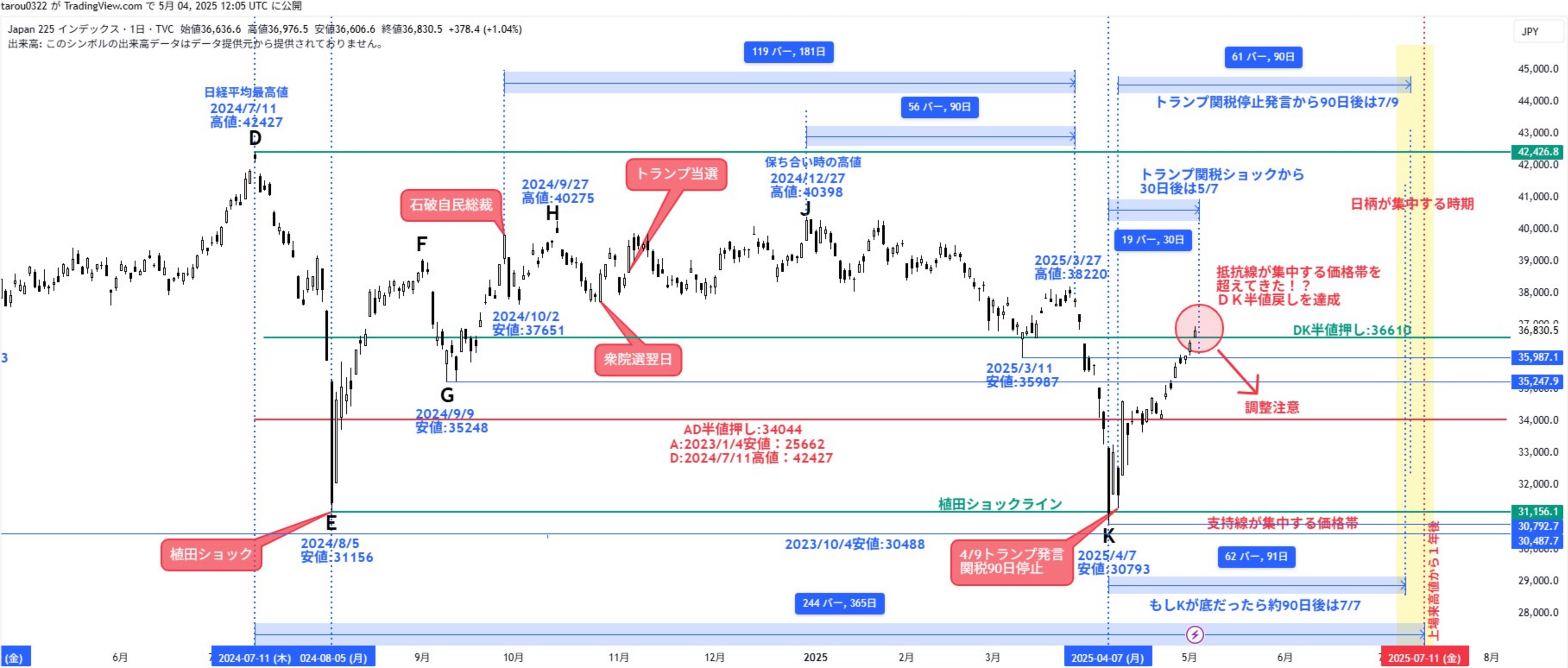
ドル建て日経平均は、2022/10/21 安値 177.6 ドル（A）を起点に上昇し、2024/9/27 に高値 280.2 ドル（H）を記録。その後は、2025/4/7 に K 安値 210.6 ドルまで急落。「植田ショック」と「トランプ関税ショック」を経て、現時点ではトランプ関税ショックの前まで急回復している。

価格動向

2024/9/27 の高値 280.2 ドル（H）から急落し、241.8 ドル・228.9 ドルを割り、2025/4/7 に 210.6 ドル（K）を記録。218.3 ドル（植田ショック）も下回り、急落後は反発。4/9 の関税停止が契機となり、現在 254 ドル台まで回復。245.4 ドルを上抜ける強さだが、暴落前の水準まで「全戻し後」のため警戒。戻り目処は 280.2 ドル、直近の下値支持域は 241.8～245.4 ドル。

日柄分析

2024/9/27 高値（H）から 2025/4/7 安値（K）までの経過日数は 192 日で、「約半年 + α」に該当。これは底入れの可能性を示唆。さらに、K 安値から 91 日後となる 2025/7/7 は、新たな注目日柄として意識される。この前後では反転または調整の有無を見極める必要があり、時間的な節目として注目されるタイミング。K 安値から 30 日後は 5/7 で日柄的にも調整リスクに注意のタイミング。



NI225/USDJPY · 1日 · TVC 始値252.1 高値254.7 安値252.1 終値254.1 +3.2 (+1.29%)
出来高: このシンボルの出来高データはデータ提供元から提供されておりません。



■現在の市場状況と注目銘柄の選定背景

今回は次の2銘柄を注目銘柄としてピックアップしました。

■住友ファーマ（証券コード：4506、東証プライム）

2025年3月期の業績予想が赤字から黒字へと大幅に上方修正されたことが市場に好感され、株価は短期間で大きく上昇した。主因は関係会社貸倒引当金の戻入れや資産譲渡益などによる一時的要因であり、これが株価材料として強く意識された。

決算発表と注意点：

本決算は5月13日に予定されており、注目点は黒字転換の中身とその持続性。今後の収益構造改革、新薬パイプラインの進展、恒常的な利益創出力が示されるかどうかが焦点となる。

■A i ロボティクス（証券コード：247A、東証グロース）

生成AIや自動化技術の進展に伴い、AI・ロボティクス関連の需要が拡大。同社は労働力不足に対応する自動化ソリューションを展開しており、今後の成長が期待されるテーマ株として注目される。

決算発表と注意点：

決算発表は間近と見られ、注目すべきは研究開発費の動向と主要プロジェクトの収益化状況。利益成長の裏付けとして、技術進展が業績にどう結びついているかが問われる局面となる。

補足

両社ともに決算発表が近づいており、業績の持続性や成長戦略の具体性が投資判断の鍵となる。特に、住友ファーマは一時的な要因による業績改善であるため、今後の成長戦略に注目が集まる。A i ロボティクスは、成長分野であるAI・ロボティクス市場におけるポジショニングと収益性のバランスが重要となる。

■住友ファーマ（証券コード：4506、東証プライム）

【概要・ビジネスモデル】

主要事業：医療用医薬品の研究開発・製造・販売

収益源：北米・日本・アジアでの医薬品販売

業界特性：新薬開発の成功と特許期間が収益を左右

主力サービス：「オルゴビクス」「マイフェンブリー」などの治療薬

【株価に影響を与える要因】

- **決算発表：**25/4/28(通期)発表、売上+178億円、営業益+78億円
- **業績修正：**25/4/28 上方修正、純利益 160 億円→236 億円に+76 億円
- **定量的材料：**25/4/28 北米での主力製品販売が想定超過
- **業績影響要因：**北米での主力製品販売増と構造改革効果
- **需給要因：**主力製品の市場競争と特許切れリスク

【チャートで注目すべき点】

長期的な視点

2018/12/6に上場来高値 4,135 円（A）を記録後、2024/5/30に上場来安値 279 円（C）まで長期下落。直近では安値から反発し、「BC1/3 戻し」973 円手前まで回復。今後は、長期的に影響を与える線①（BC 半値 1321 円）を明確に突破できるかが転換点。また、黄色帯の「窓①：長期的に開けた窓」や、2,363 円（B）の高値は目標価格として意識される。

短期的な視点

2025/5/2 終値 941 円は「中立ルート」に位置し、上昇を阻む線（BC1/3 戻し 973 円）手前。4/16 安値 506 円から一気に 435 円幅上昇、特に 4/28 の業績上方修正を受けた急騰で、短期的な過熱感に注意。下落を防ぐ線（窓下 723 円）までに窓②の支持帯があり、押し目が意識されやすい水準。5/13 の決算発表後の値動きが分岐点。

【戦略シナリオ】

楽観ルート

上昇を阻む線：BC1/3 戻し 973 円を明確に突破すれば、BC 半値 1321 円を目指す上昇トレンド継続と見なされ楽観ルートに入る。

中立ルート

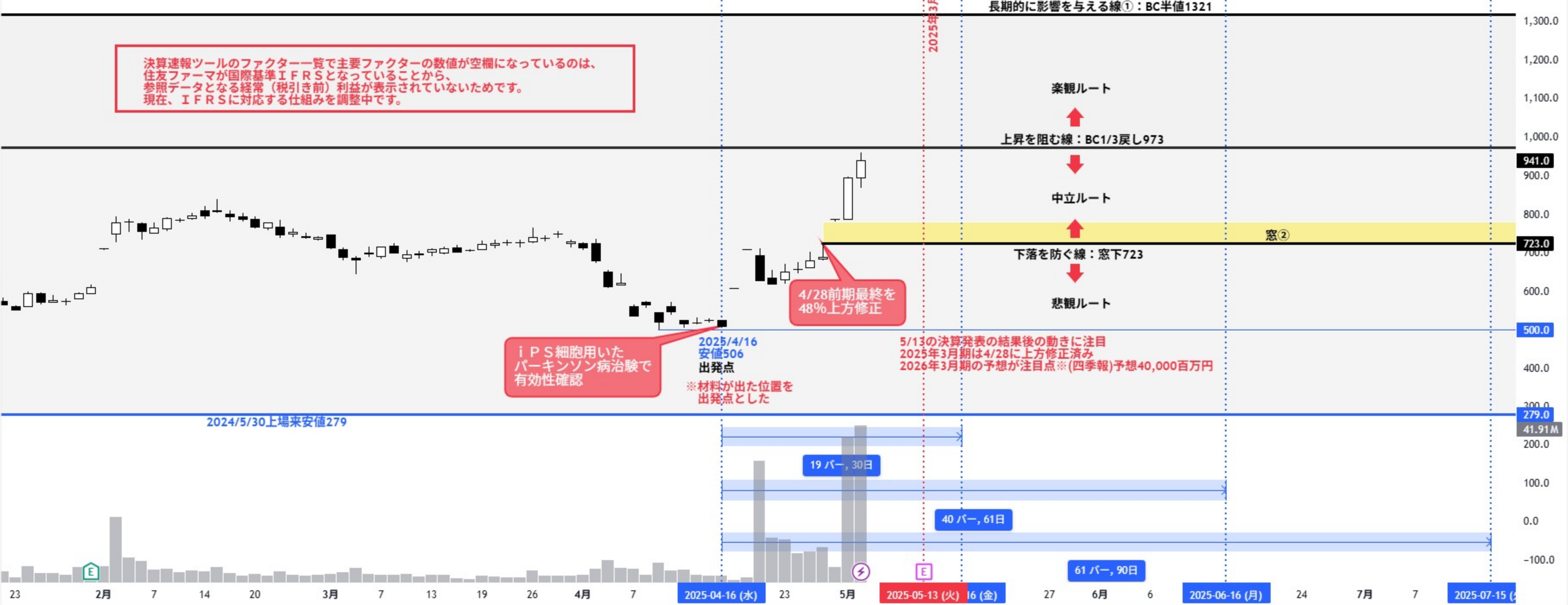
973 円と窓②下限 723 円の間で推移する場合を中立ルートとし、今後の決算内容や窓②の支持強度が注目点となる。

悲観ルート

下落を防ぐ線 723 円を割ると、窓埋めから出発点 506 円を目指す展開となり、悲観ルートに転じる。



住友ファーマ・1日・TSE 始値894.0 高値960.0 安値868.0 終値941.0 +47.0 (+5.26%)
出来高 41.91M



■ A i ロボティクス（証券コード：247A、東証グロース）※チャート図は1枚のみ

【概要・ビジネスモデル】

主要事業：D2C ブランド事業（スキンケア・美容家電）

収益源：自社 EC・EC モール・店頭卸による商品販売

業界特性：AI 活用によるマーケティング効率化と SNS 集客

主力サービス：「Yunth」（スキンケア）、「Brighte」（美容家電）

【株価に影響を与える要因】

- 決算発表：25/2/14(3Q)発表、売上 + 51.2 億円、営業益 + 4.14 億円
- 業績修正：25/2/14 上方修正、経常益 17 億円→23.5 億円に + 6.5 億円
- 定量的材料：25/5/2Yunth 楽天ベストコスメ 2025 上半期総合大賞 1 位
- 業績影響要因：主力商品の新規投入と SNS 広告による販売拡大
- 需給要因：自社 EC 中心の販売でリピート率と LTV 向上が鍵

【チャートで注目すべき点】

長期的な視点

2024/11/27 に上場来安値 2,289 円（A）を記録後、2025/4/22 に上場来高値 4,640 円（C）まで約 2 倍に上昇。戻り局面では「BG 半値 3900 円」や「窓」付近が最初の支持帯。AC 半値 3,464.5 円が最終的な支持線と想定。ここを割ると「出発点①」2,289 円までの調整リスクがある。決算後の動きが重要とされており、「業績予想 2350 超」達成の有無が今後のトレンドを左右しそうだ。なお 4/11-4/14 窓開けは 4/12 の株探記事によるものなので、埋める可能性が高いとみている。

短期的な視点

2025/5/4 時点の株価 4,125 円は「中立ルート」にあり、BC 半値 3900 円より上の位置で推移。直近は 4/22 高値 4,640 円（上昇を阻む線）から調整中で、戻りの上値はこの水準が抵抗帯。下は 3,464.5 円（AC 半値）が「下落を防ぐ線」となり、ここを割れると悲観ルート入りとなり要警戒。

【戦略シナリオ】

楽観ルート

2025/4/22 の上場来高値 4,640 円（上昇を阻む線）を超えると、強い上昇波が再開される可能性が高まり、楽観ルートに入る。

中立ルート

BC 半値と、窓の価格帯の付近を中心とした保ち合うが続く展開を中立ルートとする。

悲観ルート

AC 半値 3,464.5 円を明確に割ると下落基調が強まり、出発点①3,160 円および出発点②2,289 円を試す展開となるため悲観ルートと判断される。

A I ロボティクス・1日・TSE 始値4,195.0 高値4,205.0 安値4,075.0 終値4,125.0 -115.0 (-2.71%)
出来高 240.4K

JPY

年成長率		四半期成長率		四半期割安率		バリュース（経常）			サプライズ		配当	株価変化	市場追随率
今期予想 成長	前年同期 比ベース	前四半期 比ベース	EP前年同 期比	EP前四半 期比	四半期 EP(経常)	予想EP	BP(PBR 逆数)	決算減衰 20日(サ プライ	予想修正 減衰20日 (リビ	予想配当 利回り (%)	急変Ret	市場追随 率20日	
0.623	0.338	-0.085	0.010	-0.003	0.038	0.049	0.057		2.226	0.000	-2.049	0.319	

